

FUJITEC

2020年3月期 決算説明

フジテック株式会社

代表取締役社長 内山 高一

本日のご説明内容

1. 2020年3月期連結業績の概要
2. 2021年3月期連結業績予想の概要
3. 2020年度重点施策



ビッグウイング（滋賀県彦根市）

- 2020年3月期の業績は、売上高、当期純利益が過去最高。営業利益も中国での大幅増益で約30億円の増加
- 2021年3月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染症の影響について出来る範囲内でリスクを織り込み策定
- 2020年度の重点施策
 - 地域戦略
新設は、中国で経済再開後に業容拡大を目指す。インドは、受注拡大と採算改善。アフターマーケットは、成熟市場の強化
 - 商品・技術戦略
国内で新標準機種XIORによるプロセス改革
 - オペレーション戦略
国内は生産性向上。インドと台湾は生産能力拡大
 - コーポレート戦略
事業成長に向けた経営資源の継続投入と株主への利益還元

1. 2020年3月期連結業績の概要



ビッグステップ（兵庫県豊岡市）

2020年3月期通期業績ハイライト

FUJITEC

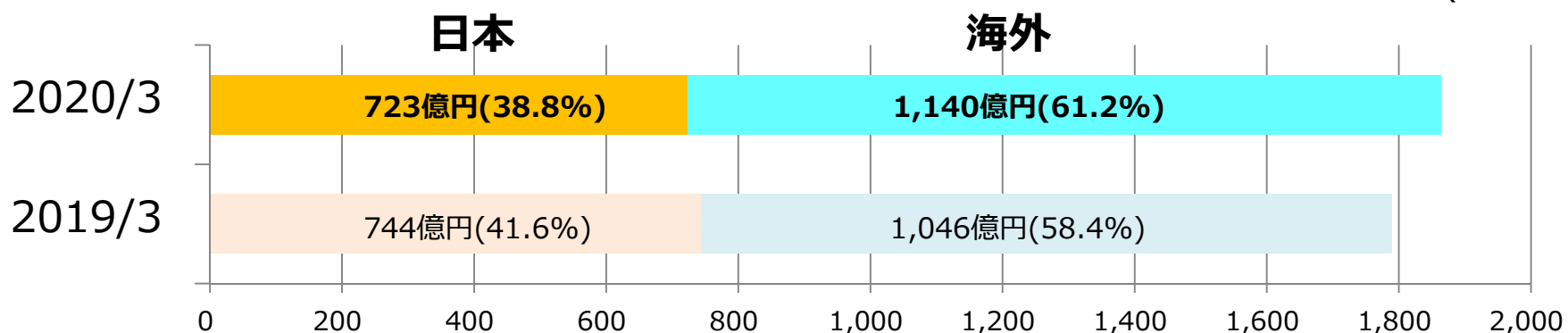
増収増益：売上高、当期純利益は過去最高を更新

(単位：百万円)

| | 2020/3 (通期) | 修正予想 | 2019/3 (通期) | 増減 (前期比) |
|---------------------|----------------|---------|----------------|-------------|
| 受注高 | 186,320 | — | 179,007 | +4.1% |
| 売上高 | 181,232 | 180,000 | 170,759 | +6.1% |
| 受注残高 | 207,817 | — | 208,183 | △0.2% |
| 営業利益 | 13,375 | 13,500 | 10,313 | +29.7% |
| 営業利益率 | 7.4% | 7.5% | 6.0% | +1.4P |
| 経常利益 | 14,682 | 14,500 | 11,922 | +23.2% |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 | 9,916 | 10,000 | 9,220 | +7.6% |
| EPS | 122.46円 | 123.54円 | 114.14円 | +8.32円 |

海外受注が東アジア、北米・欧州で増加

グラフ内の数値：受注金額(構成比率)



【国内受注】

723億2,500万円 (前期比△2.8%)

- インバウンド向けホテル需要が活発
- 前年の大型オフィス受注の反動減

【海外受注】

1,139億9,400万円 (前期比+9.0%)

- 東アジア、北米・欧州で増加
- 中国が大幅増加、香港・台湾も好調
- 為替の影響を除くと、実質13%増

売上高

日本、東アジア、北米・欧州が増収

【国内売上高】

725億1,900万円（前期比+5.0%）

➢ 新設、保守、修理、モダニゼーション好調

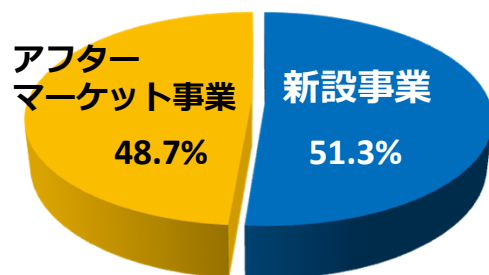
【海外売上高】

1,087億1,200万円（前期比+6.9%）

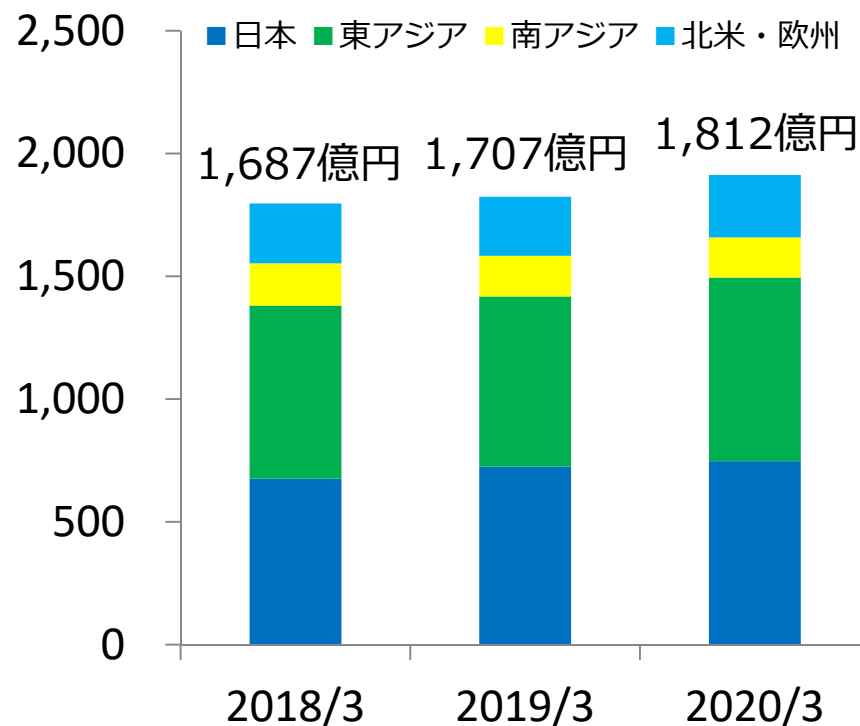
➢ 東アジア、北米・欧州で増加

➢ 為替の影響を除くと、実質10.9%増加

【事業別売上比率】（2020年3月期）



売上高：億円



営業利益

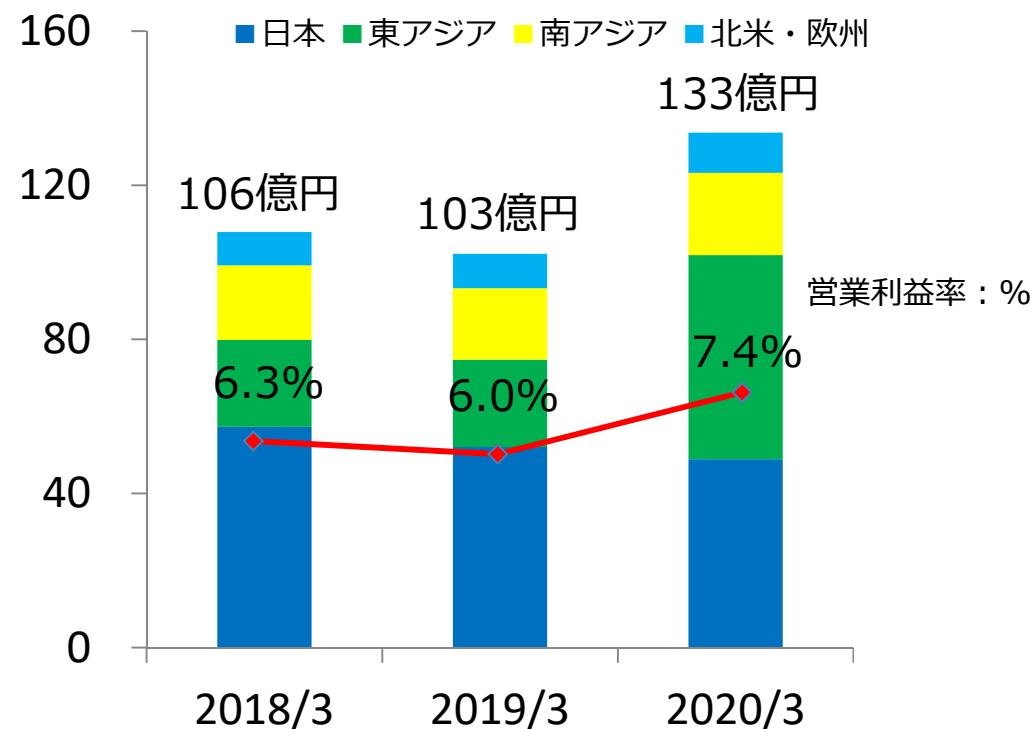
東アジアが大幅増益。営業利益率が上昇

【営業利益】

133億7,500万円（前期比+29.7%）

- 日本は減益
- 東アジア、南アジア、北米・欧州が増益
- 営業利益は前期比で約30億円の増加
- 営業利益率が7.4%に上昇

営業利益：億円



セグメント別の概要

FUJITEC

東アジア、北米・欧州が増収増益。南アジアも増益

(単位：百万円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|---------|----------------|----------------|------|----------------|----------------|--------|
| | 2020/3 (通期) | 2019/3 (通期) | 増減% | 2020/3 (通期) | 2019/3 (通期) | 増減額 |
| 日 本 | 74,751 | 72,485 | +3.1 | 4,891 | 5,206 | △314 |
| 東 ア ジ ア | 74,748 | 69,308 | +7.8 | 5,297 | 2,269 | +3,027 |
| 南 ア ジ ア | 16,379 | 16,572 | △1.2 | 2,135 | 1,851 | +283 |
| 北米・欧州 | 25,443 | 24,045 | +5.8 | 1,045 | 893 | +152 |
| 小 計 | 191,323 | 182,411 | +4.9 | 13,370 | 10,220 | +3,149 |
| 調 整 額 | △10,091 | △11,652 | - | 5 | 92 | △87 |
| 合 計 | 181,232 | 170,759 | +6.1 | 13,375 | 10,313 | +3,061 |

受注状況・業績概要 (セグメント別まとめ)



| | 受注状況 | 業績概要 |
|-------|---|--|
| 日本 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ ホテル向け、マンション向けが増加 ▶ オフィス向けで前期の大型案件の反動で減少 ▶ アフターマーケットは保守が増加 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上高は新設事業、アフターマーケット事業ともに好調に推移 ▶ 営業利益は業務の輻輳で変動費が増加し減益 |
| 東アジア | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 中国は、販売価格の見直しと活発な営業活動により、約2割増加 ▶ 香港、台湾は新設・アフターマーケットとも増加 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上高は中国と台湾で増収。東アジア全体で7.8%の増収。中国は、新設事業が牽引し、前期比で実質約2割の増収。台湾では、新設、アフターマーケット事業とも増収 ▶ 営業利益は中国で増収効果と原価低減により、大幅な増益。香港は減益。台湾は増益。韓国は輸出事業が改善。東アジア全体で前期の2.3倍増 |
| 南アジア | <ul style="list-style-type: none"> ▶ シンガポールで受注が増加 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上高はシンガポールを中心にほぼ前期並み。インドは増収 ▶ 営業利益はシンガポールでエレベータ新設工事の採算改善に加え、インドは改善が進み増益 |
| 北米・欧州 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 米国で新設とモダニゼーションが増加 ▶ カナダは前期の大型案件の反動で減少 ▶ 英国は増加 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 売上高は米国で新設・モダニゼーションの伸長に加え、カナダは新設が増加、英国も増収。北米・欧州全体では実質7.5%増加 ▶ 営業利益は米国とカナダで増益。英国はブレークイーブン。米国・欧州全体で実質17%増益 |

2. 2021年3月期連結業績予想の概要



ビッグフィット（大阪府茨木市）

2021年3月期の業績予想の前提

FUJITEC

- ▶ 新型コロナウイルスによる経済活動の停滞で、足元では厳しい事業環境
- ▶ 現時点で想定できる範囲内でリスクを織り込み業績予想を策定

当社の状況

- ▶ 中国は春節後も2月は工場の稼働が停止
- ▶ インドも、8週間にわたって操業停止
- ▶ 保守は社会に必要なインフラ事業として世界各国で事業継続

事業への影響

- ▶ 新設・モダニゼーション工事の延伸や計画物件の手控え
- ▶ 企業の経費削減ニーズによる修理工事の延伸

2021年3月期連結業績の予想

FUJITEC

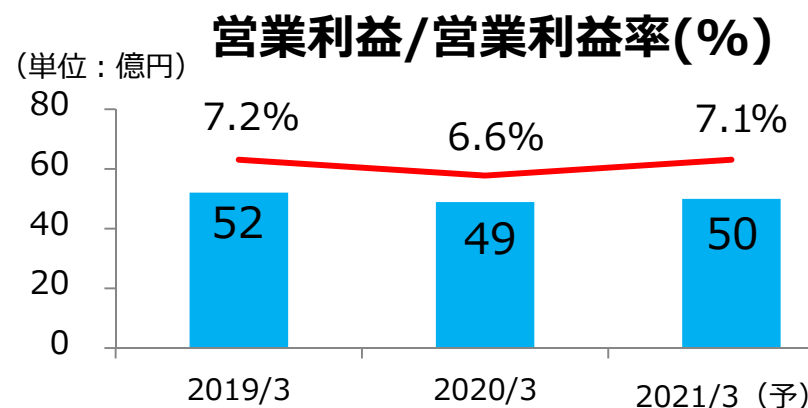
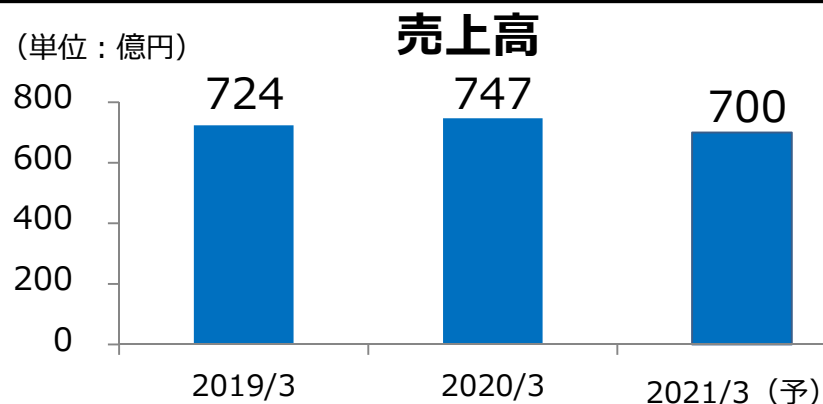
減収減益。日本は増益を計画

(単位：百万円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|---------|----------------|----------------|-------|----------------|----------------|--------|
| | 2021/3 (通期) | 2020/3 (通期) | 増減% | 2021/3 (通期) | 2020/3 (通期) | 増減額 |
| 日 本 | 70,000 | 74,751 | △6.4 | 5,000 | 4,891 | +108 |
| 東 ア ジ ア | 64,000 | 74,748 | △14.4 | 3,600 | 5,297 | △1,697 |
| 南 ア ジ ア | 16,000 | 16,379 | △2.3 | 1,700 | 2,135 | △435 |
| 北米・欧州 | 25,000 | 25,443 | △1.7 | 600 | 1,045 | △445 |
| 小 計 | 175,000 | 191,323 | △8.5 | 10,900 | 13,370 | △2,470 |
| 調 整 額 | △10,000 | △10,091 | - | △200 | 5 | △205 |
| 合 計 | 165,000 | 181,232 | △9.0 | 10,700 | 13,375 | △2,675 |

新設の採算改善を見込み増益

- ▶ 今年4月、新しい生活様式に向けた商品として、新標準機種XIORの販売を開始
- ▶ 新標準機種は、適用範囲が広く、従来のオーダー機種に対応可能で設計・生産コストの低減を期待
- ▶ 新設は受注済み案件は工事が継続、着工は概ね計画通りと想定
- ▶ アフターマーケットは、モダニゼーション・修理の一部で延伸を見込む

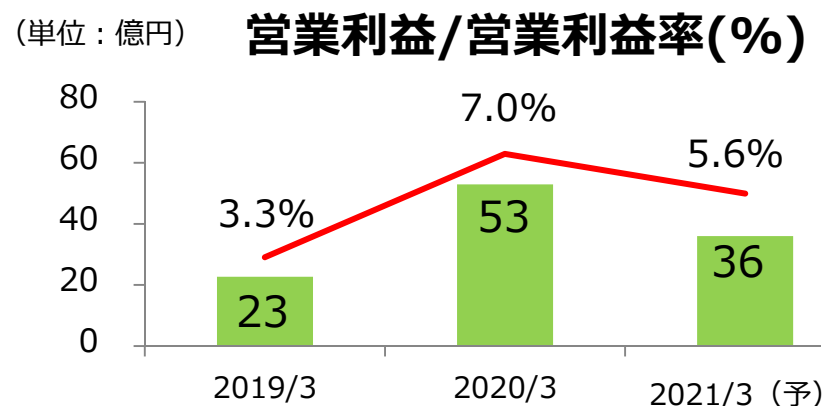
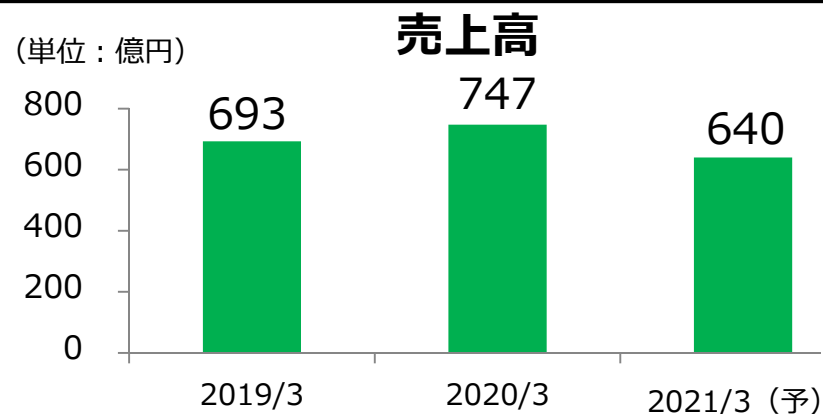


2021年3月期業績予想 東アジア

FUJITEC

中国で大幅な減収を見込む

- ▶ 中国は、経済悪化は長引く見通しであり、不透明な経済環境が続く
売上高は約100億円の減収を想定し減益
- ▶ 香港は、受注済み案件が潤沢で、増収を見込む
営業利益は前期並みで計画
- ▶ 台湾、韓国は、新型コロナウイルスの影響は軽微
台湾は減益。韓国は輸出採算が改善

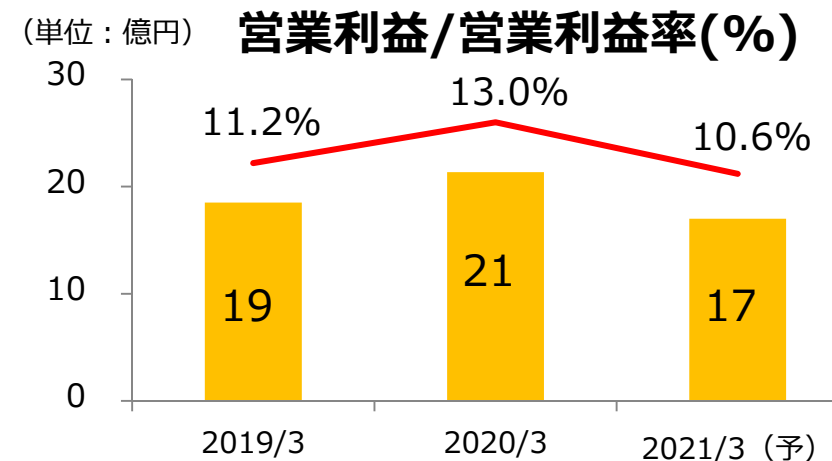
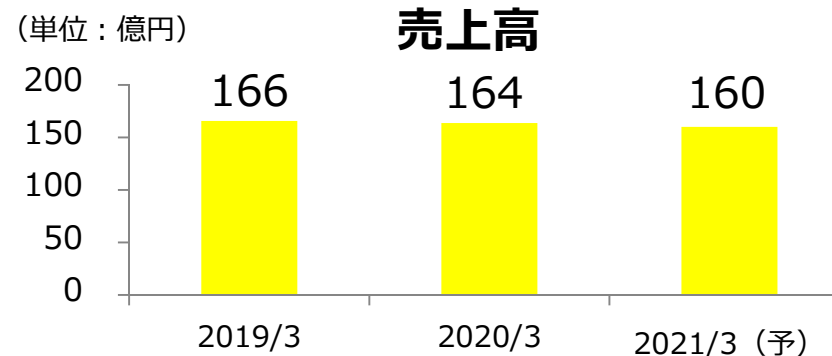


2021年3月期業績予想 南アジア

FUJITEC

シンガポールは新設で採算が低下

- ▶ シンガポールは、売上高は前期水準を維持
新設で採算の低下が見込まれ減益
- ▶ マレーシア、インドネシアは、営業利益は採算の
改善により前期水準を維持
- ▶ インドは、回復には時間を要する見通し
新設の工事延伸を見込み減収・減益

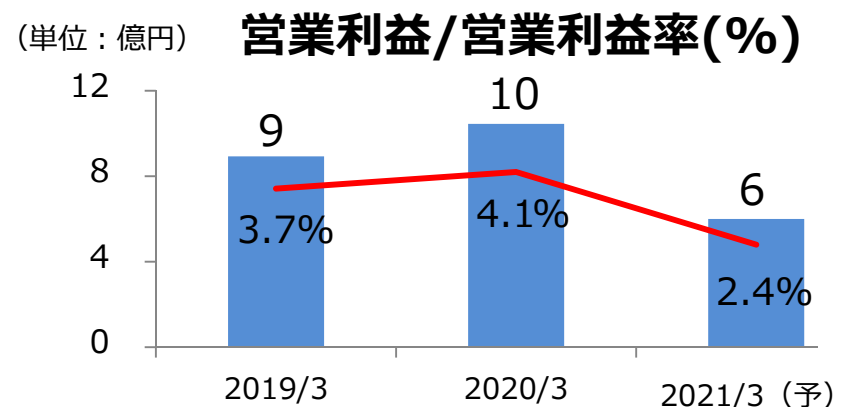
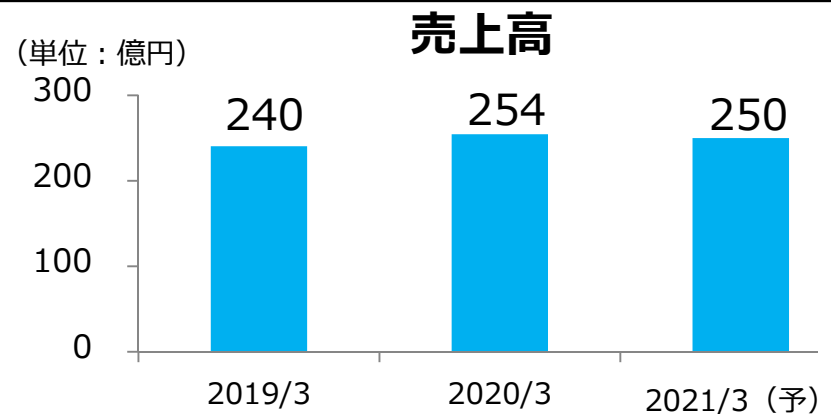


2021年3月期業績予想 北米・欧州

FUJITEC

北米は新設とモダニゼーションで減収

- ▶ 米国の売上高は、新設で減収を見込む
保守への影響は限定的
営業利益はモダニゼーションの減少で減益計画
- ▶ カナダは、新設とモダニゼーションの落ち込みを
予想
- ▶ 英国はAmalgamated Lifts社が連結対象になり、
増収・増益



設備投資・減価償却費・研究開発・配当

FUJITEC

(単位：百万円)

| | 2021/3 | 2020/3 | 2019/3 | 特記事項 |
|-------|--------|--------|--------|---|
| 設備投資額 | 5,500 | 3,523 | 2,912 | |
| 国内 | 3,000 | 2,392 | 2,160 | 【2021年3月期】 生産自動化投資 |
| 海外 | 2,500 | 1,131 | 752 | 【2020年3月期】 インドで第2工場着工 【2021年3月期】 インド、台湾の生産拡大 |
| 減価償却費 | 3,500 | 3,183 | 3,055 | |
| 研究開発費 | 2,500 | 2,208 | 2,425 | 【2020年3月期】 標準機種「XIOR」フルモデルチェンジ完了 |
| 配当金 | 50 | 50 | 45 | 【2021年3月期】 据え置き、配当性向54% |
| 中間 | 20 | 20 | 20 | |
| 期末 | 30 | 30 | 25 | 【2020年3月期】 純利益が過去最高となり1株当たり5円増配 |

3. 2020年度重点施策



クリエイティブ スタジオ 東京（東京都港区）

新設は中国・インド、アフターマーケットは成熟市場を強化

| セグメント | 2020年度重点施策 |
|-------|--|
| 東アジア | 中国は経済活動の再開後、業容拡大を目指す |
| 南アジア | インドは、受注拡大と採算改善 |
| 北米・欧州 | アフターマーケットに引き続き注力 英国は、Amalgamated Lifts社とのシナジー追求 |



シンガポールのラッフルズ・プレイス
モダンゼーション受注

新標準機種の開発が完了、衛生面の機能充実

開発コンセプト：“スタンダードを超えていく。”

3つの特徴

- エレベータ専用クーラー：標準装備業界初
- 最大定格速度 分速120m：業界最速。高い輸送能力で待ち時間短縮
- 8.4インチ大型液晶モニター：業界最大。視認性と快適性の向上

衛生面の強化：感染症対策にも効果を期待

- 非接触呼び登録：タッチレスで行先階登録
- 抗菌ボタン：素材に抗菌性樹脂採用
- 混雑度表示：混雑状況を認識し3密回避
- イオンフル：かご内のウイルスなどの活動を抑制

エレベータの“新常識”。

「快適」と「清潔」を追求し続けてきたFUJITECのエレベータ。公衆衛生面を一層強化した新製品【エクシオール】には、いまこの時、感染症対策に役立つ機能が充実しています。

| | |
|--|---|
| 01 非接触呼び登録 だから、直接触れることなくエレベータを操作できます。非接触で呼び登録・行く先階登録が可能です。 | 02 抗菌ボタン だから、清潔を保ち細菌の増殖を抑えることができます。ボタンの素材に抗菌性樹脂を練り込んでいます。 |
| 03 エレベータの混雑度を5段階で表示 密集状況のエレベータは回避できます。かご内にとのくらの人が乗車しているか事前に把握できます。 | 04 プラズマクラスターイオン放出 だから、エレベータ内の空気の汚れを浄化できます。シャープ株式会社の「プラズマクラスター技術」を活用しています。 |
| 05 クーラーファンの使用で常時換気可能 だから、感染リスクを軽減させる対策が可能です。空気の入れ替えには、エレベータ専用クーラーと換気扇を使用します。 | 06 特殊コーティング だから、ステンレス部分に指紋や手垢が付きにくく清潔を保てます。 |

※各機能の詳細はエクシオールのカタログでご確認ください。 ※エクシオールの公衆衛生面に詳しくはお問い合わせはフジテック営業所までお願いいたします。

FUJITEC エレベータを次のステージへ。 **NEW XIOR**

開発・生産効率の向上と、新たな時代への展開

プロセス改革（設計・生産効率向上）

- ▶ BIM(*)などを活用した業務のデジタル化を推進
- ▶ 受注から生産までデータ連携による自動一貫生産体制の構築

* Building Information Modeling

技術力強化（WING SQUARE・研究塔）

- ▶ 大型実験施設での新技術の実証実験によるエレベータ
エスカレータの技術確立の迅速化

オープンイノベーション

- ▶ 国内外の大学・研究機関、他業種メーカーとの連携による
基礎技術、要素技術の獲得

社会課題を解決する“安全・安心”な商品の開発

- ▶ 新しい生活様式に対応したタッチレス・除菌技術などの拡充
- ▶ 災害時などの安全性強化、多様性を考慮した利便性向上、など



新標準機種
XIOR



WING SQUARE（滋賀県彦根市）

生産能力の拡大と生産効率の向上

インド工場拡張



2020年度
2,000台体制
構築完了

台湾工場を拡張



1,000台体制
構築中

ビッグウイング製作所 生産性改善



生産能力拡大
自動化設備の
導入

物流拠点の整備

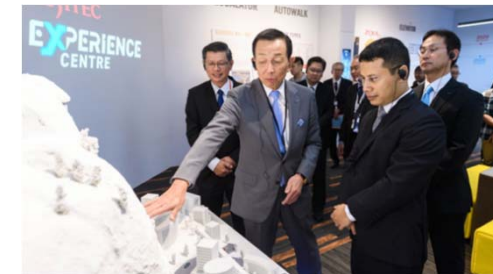


東京と大阪の
2拠点体制
構築

国内外で設備投資を継続、M&Aも追求

内部成長

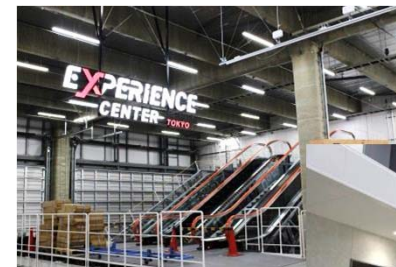
- 2019年度は研修施設を拡充
シンガポール、インド、東京にエクスペリエンスセンターを開設
- 2020年度は人材開発投資
フィールド要員のスキル向上
安全・安心の提供と効率的な業務の運営を狙う



大臣を招いたオープニングセレモニー
(シンガポール)

外部成長

- 2019年度はAmalgamated Lifts社を買収
- 2020年度もM&Aを検討



エクスペリエンスセンター東京（東京都大田区）

コーポレート戦略

コーポレートガバナンスの強化

経営の一層の透明性を確保する体制へ

2018年



社外取締役3名 / 7名

社外取締役比率：42.8%



2019年



社外取締役5名 / 9名

社外取締役比率：55.6%

資本政策と株主還元

企業価値の中長期的な向上を目指す

- 事業の健全な運営
- 必要な成長投資を適宜行える強固な財務基盤の維持
- 配当性向40～50%を目途とする安定的・継続的な株主還元



| | 2019年度 | 中期経営計画 |
|------|---------|------------------|
| 配当性向 | 配当性向40% | 配当性向40～50%を目途 |
| ROE | 9.5%を達成 | ROE8.0%以上の達成を目指す |

FUJITEC

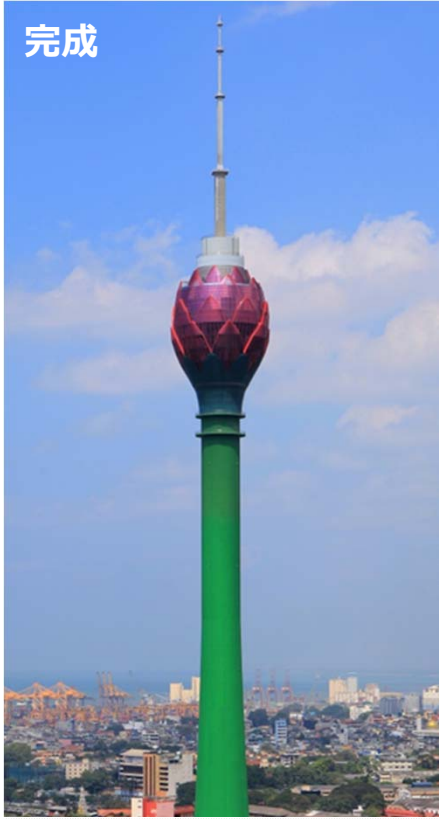
參考資料

参考資料①：連結バランスシート

FUJITEC

| (単位：百万円) | 2020/3末 | 2019/3末 | 増減額 | 備考 |
|-----------|-----------|-----------|---------|---|
| 流動資産 | 140,884 | 131,181 | +9,702 | |
| 現金及び預金 | 57,024 | 52,244 | +4,779 | 東アジア、南アジアでの増加 |
| 受取手形及び売掛金 | 61,626 | 54,680 | +6,946 | 東アジア、北米・欧州、南アジアでの増加 |
| 棚卸資産 | 19,321 | 21,292 | △1,970 | |
| その他 | 5,053 | 5,003 | +50 | |
| 貸倒引当金 | △2,142 | △2,039 | △102 | |
| 固定資産 | 52,697 | 53,508 | △811 | |
| 有形固定資産 | 34,188 | 33,948 | +239 | 設備投資+3,321 減価償却△2,881 為替ほか△201 |
| 無形固定資産 | 3,640 | 3,874 | △234 | |
| 投資その他の資産 | 14,868 | 15,684 | △815 | |
| 総資産 | 193,581 | 184,690 | +8,891 | |
| 流動負債 | 70,083 | 66,241 | +3,842 | 前受金+2,240 短期借入金+691 工事損失引当金+511 |
| 固定負債 | 4,783 | 4,525 | +257 | |
| 純資産 | 118,714 | 113,923 | +4,791 | 利益剰余金+6,268 為替換算調整勘定 △935 その他有価証券評価差額金△1,005 |
| 自己資本比率 | 55.2% | 55.7% | △0.5P | |
| B P S | 1,318.59円 | 1,271.28円 | +47.31円 | |

参考資料②：主な受注・納入実績



完成

ロータス タワー
(スリランカ・コロンボ)
エレベータ・エスカレータ計14台



受注

富邦信義A25總部
(台湾・台北)
エレベータ・エスカレータ計33台



受注

メナラ ジャカルタ
(インドネシア・ジャカルタ)
エレベータ・エスカレータ計59台



受注

425レキシントン アベニュー
(米国・ニューヨーク)
既設エレベータ14台の更新工事



完成

SAKURA MACHI Kumamoto
(日本・熊本)
エレベータ・エスカレータ計23台

参考資料③：当社の会社概要

FUJITEC

| | |
|------|--|
| 社名 | フジテック株式会社 |
| 設立 | 1948年2月 (1974年2月東証第一部上場) |
| 本社 | ビッグウイング 滋賀県彦根市宮田町591番地1 |
| 事業内容 | エレベータ、エスカレータの研究開発・製造・販売 据付・保守 |
| 資本金 | 125億33百万円（発行済株式数90,067,000株） |
| 役員 | 代表取締役社長 内山高一 取締役：9名（うち社外5名） 監査役：4名（うち社外3名） |
| 従業員数 | 連結 10,292名（単独 3,040名） |
| 関係会社 | 34社（内、連結子会社18社） （米州、東アジア、南アジア、欧州・中近東） |

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2020年5月20日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2020年5月★日

フジテック株式会社

2020年3月期 決算説明資料

